

## 協議会名称： 鯖江型持続可能エネルギー利活用推進協議会

事業概要	
1 事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"><li>鯖江市河和田地区は山々に囲まれた中山間地域である。山々から流れ出る豊富な水量と高低差を利用した水力発電施設の導入を検討する。</li><li>地域自らが設置できる水力発電施設の利活用計画を策定し、地域が実践することで地域おこしに繋げる。</li></ul>
2 協議会の構成	協議会：学識経験者、河和田地区区長会、鯖江市 小水力発電検討分科会：学識経験者、候補地係区長、鯖江市 地域利用型利活用推進分科会：河和田全区長、関係団体、鯖江市

事業計画	
1 再エネ事業の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>治山堰堤や砂防ダム等を利用した小水力発電施設の検討 20～30kW 規模の水力発電施設を想定しており、売電収入による公共施設の維持管理費の低減を図る。</li><li>農業用排水路等を利用した小水力発電施設利活用の検討 地域自らが容易に設置できる水力発電施設を想定しており、発電電力の利用方法等、地域の主体性を助長する方策を検討する。</li></ul>
2 事業の進め方・方針	<ul style="list-style-type: none"><li>ポテンシャルの評価分析 候補地の測量、流量等の簡易調査</li><li>導入イメージの構築 発電規模および電力量の概略算定</li><li>第3回小水力発電アイデアコンテストへの支援</li></ul>

今年度の取組み	
1 今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>基本構想の策定（事業化候補地点の選定）</li><li>地域利用型発電施設の活用方法策定</li></ul>
2 課題と解決への取組み	<ul style="list-style-type: none"><li>河川流量の把握、発電形式の選定 夏季の河川流量の把握、効率的な発電形式の選定</li><li>アイデアコンテスト設置発電機の普及 地域自らが設置できる設備、発電電力の使用用途</li></ul>